

# 平成30年度

# 緑生苑事業計画

## 1 特別養護老人ホーム緑生苑

今年度のテーマを「ばんそう型介護～ここはひとつ利用者のために」と掲げます。利用者の生活が豊かになることを軸に各種専門職がばんそう(伴奏・伴走)するように盛りたて、引き立て、実践していく介護を目指します。これは緑生苑を建設する際、ここをご利用する全ての方が分け隔てなく助け合って生活をしていく精神に基づくものであります。

既存の加算や新設される加算を組み合わせ、利用者、家族等の身元保証人へ根拠ある説明ができる介護を実践してまいります。機能訓練指導員を新たにおき、加齢と共にADLが低下する利用者の状態を見ながら、適切な生活機能の向上や維持ができる体制の構築を目指します。各種専門職が取り組む1つ1つの実践がモニタリング等を通して、利用者や家族等の身元保証人へ納得いく形をより一層整えていきます。移乗の手助けをする移乗ボード等の介護補助機器の適切な使用を通して、利用者にとっても職員にとってもお互いに負担のない介助方法の構築を目指します。認知症実践者研修、喀痰吸引の実施研修、取り組みの進んでいる他施設への積極的な見学等を通して、緑生苑の専門的ケア充実を図ります。

## 2 短期入所事業

中重度の要介護者も含め、どこに住んでいても適切な医療・介護サービスを切れ目なく受けることができる体制を整備していくことが短期入所事業における重点課題として位置付け、ケアマネージャーとの情報共有する仕組みの柔軟な見直しや徹底をはかり、緊急時の受け入れでも対応できる体制を構築してまいります。外部からの理学療法士の共同モニタリングを受け、リハビリの実践を充実してまいります。

## 3 デイサービス事業

利用者の方々が一日のご利用に際して、入浴・食事・楽しみに加えて個別ケアを計画し、ゆとりある生活を送っていただけるよう、努めてまいります。また区内の居宅支援事業所を訪問するなどして新規の利用者確保にも力を注いでいきます。さらに利用者・家族の要望に応えるため、お迎え時間を早めます。また、外部からの理学療法士の共同モニタリングを受け、リハビリの実践を充実してまいります。

## 4 居宅支援事業

緑生苑の居宅介護支援における地域との連携を図る窓口として、地域の皆様の信頼を得られるように方策を考慮し、実施していきます。昨年度から2人体制とし、きめ細やかな対応を心がけ利用者の増加を目指します。病院との連携もこの体制から発展させ、速やかな情報共有を目指してまいります。また、各部署との共同体制による高齢者いきいき相談室、認知症カフェを開設し皆様の相談等にも応えていきます。さらに緑区介護保険事業所連絡会にも参加し、情報の共有を図っていきます。